

学術年会

第9回日本免疫毒性学会学術大会講演一覧

2002.9.19-20. グランシップ (静岡市)

年会長：荒川泰昭 (静岡県立大学)

特別講演 I

侵襲抗原による粘膜免疫担当組織の障害 名倉宏 仙台社会保険病院病理部、東北大学大学院医学系研究科

特別講演 II

粘膜免疫のダイナミズム 清野宏 東京大学 医科学研究所 炎症免疫分野

会長講演

環境因子による胸腺免疫の病的老化 荒川泰昭 静岡県立大学 公衆衛生学

教育講演 I

機能性食品と免疫 上野川修一 東京大学大学院 農学生命科学研究科

教育講演 II

微量環境化学物質の免疫系からみたリスク評価 -とくにダイオキシンを中心として- 和田攻 埼玉医大 衛生学・東大名誉教授

シンポジウム

ヒ素による免疫毒性 櫻井照明、藤原祺多夫 東京薬科大学 生命科学部 環境衛生化学研究室

ダイオキシン曝露による免疫毒性 野原恵子(1,2)、遠山千春(1,2) (1)国立環境研 環境健康、(2)科技団 CREST

肺局所免疫における喫煙感受性の個体差と肺障害 別役智子(1)、谷野美智枝(1)、長井桂(1)、南須原康行(1)、黒木由夫(2)、西村正治(1) (1)北海道大学 医学部 第一内科、(2)札幌医科大学 第一生化学講座

ディーゼル排気吸入による免疫毒性 藤巻秀和、黒河佳香 独立行政法人国立環境研究所 環境健康研究領域

ワークショップ

合成医薬品の免疫毒性試験の国際的ハーモナイゼーション 中村和市 塩野義製薬株式会社 新薬研究所

免疫毒性試験法ガイダンス案について 澤田純一 国立医薬品食品衛生研究所 機能生化学部

バイオ医薬品の種類と免疫毒性にかかわる評価上の留意点 中澤隆弘 日本イーライリリー(株) 医薬開発研究所

バイオ医薬品の免疫毒性に関連した実施上の問題点 小林孝好 アムジェン株式会社 前臨床開発部

ランチョンセミナー I

Regulatory immunotoxicology and immunopharmacology in non-clinical drug development Mark G Wing Head of Experimental Biology and Senior Immunologist, Biosciences Division,

Huntingdon Life Sciences,
Ltd., Huntingdon,
Cambridgeshire, UK

ランチョンセミナーⅡ

Routine Immunotoxicity Testing
of Pharmaceuticals: Lessons from
the first two years

RCC, Cytotest Cell Research
GmbH, In den
Leppsteinswiesen 19, D-
64380 Rosdorf, Germany

一般演題 - 口演発表 -

ヒト骨髄腫細胞に対するATRAの効果とIL-10の役割

大槻剛巳、友国晶子、兵藤文則

川崎医科大学 衛生学

アレルギー性接触皮膚炎におけるTNF- α の役割

金澤由基子(1,2)、
小黒多希子(2)、畑尾正人(3)、宝来玲子(4)、浅野雅秀(4)、岩倉洋一郎(4)、小野宏(1)、吉田武美(2)

(1)(財)食品薬品安全センター 秦野研究所、(2)昭和大学 薬学部毒物学教室、(3)株資生堂 リサーチセンター、(4)東京大学・医科学研究所

Plaque-forming cell assay系におけるCyclophosphamide投与ラットの系統比較

河井良太、間哲生、味岡素子、八木昌恵、木村努

三共株式会社 安全性研究所

環境リスク評価のための免疫指標の有効性に関する検討 - 3歳幼児での検証 第2報 -

吉田貴彦(1)、伊藤俊弘(1)、中木良彦(1)、大沢基保(2)、大塚文徳(2)、高橋和子(2)、手島玲子(3)、澤田純一(3)、小島幸一(4)

(1)旭川医科大学 医学部 衛生学、(2)帝京大学 薬学部、(3)国立医薬品食品衛生研究所機能生化学部、(4)(財)食品薬品安全センター 秦野研究所

標的細胞質内のエステラーゼ活性を指標としたNK細胞活性測定法

永田雅史、金崎佳世子、日野雅生、中村和希

塩野義製薬株式会社 新薬研究所

In Vitro抗体産生系を用いた化学物質の免疫毒性の簡易評価

大沢基保(1)、高橋和子(1)、徳永裕司(2)、内海英雄(3)

(1)帝京大学 薬学部 衛生薬学講座 環境衛生学、(2)国立医薬品食品衛生研究所 環境衛生化学、(3)九州大学大学院 薬学研究院 機能分子解析学

p38MAPK阻害剤を4週間投与したアジュバント関節炎ラットにおける局所及び全身のリンパ性器官の病理学的変化

久田茂(1)、佐藤潤(2)、浅野創(2)、松本康浩(2)、森本秀樹(1)、見上崇(1)

(1)帝国臓器製薬 安全性研究部、(2)帝国臓器製薬 薬理研究部

大豆タンパク摂取ラットの肝臓におけるLPS誘導性急性炎症の抑制効果

趙建宏(1,2)、大塚広子(1)、菊池淳美(1,2)、荒尾行知(1,2)、香山不二雄(1,2)

(1)自治医科大学 保健科学講座 環境免疫学・毒性学部門、(2)科学技術振興事業団・CREST

飲食品に含まれるホルムアルデヒドの経口摂取による生体影響

中木良彦(1)、伊藤俊弘(1)、吉田貴彦(1)、坂部貢(2)

(1)旭川医科大学 医学部 衛生学、(2)北里研究所病院 臨床環境医学センター

授乳を介したダイオキシンの暴露がリステリア感染に及ぼす影響

小西良子(1)、小林一夫(1)、鈴木嘉彦(2)

(1)国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部、(2)麻布大学 獣医学部

微量環境化学物質と胸腺の微細構造 - フタル酸エステル類を中心として -	坂部貢(1,2)、吉田貴彦(3)、香山不二雄(4)	(1)北里研究所、(2)北里大学大学院、(3)旭川医科大学、(4)自治医科大学
ギンブナの細胞性免疫に及ぼす環境ホルモンの影響	二瓶萩尾、林津陽平、森友忠昭、中西照幸	日本大学 生物資源科学部 獣医学科
トリブチル錫暴露マウスにおける免疫応答の変化	高橋一夫、竹下芳裕、岩村千秋、池澤優子、池澤善郎	横浜市立大学 医学部 皮膚科
塩化トリブチルスズ曝露によるマウスマクロファージ由来細胞のサイトカインmRNA発現に対する影響	角田正史(1)、紺野信弘(1)、中野憲(2)	(1)福島県立医科大学 医学部 公衆衛生学講座、(2)福島県衛生研究所
一般演題 -ポスター・口演発表-		
ジエチルスチルベステロール(DES)の幼若ラット胸腺に及ぼす影響	林宏一、小坂忠司、竹内幸子、原田孝則	(財) 残留農薬研究所
乳酸菌・ビフィズス菌生菌摂取の免疫毒性学的解析 -新生児マウスの免疫機能発達への影響-	小林稔秀、小松加代子、加藤幾雄、尾上正治	(株)ヤクルト本社 中央研究所 安全性試験研究センター
抗原刺激およびDTBHQ刺激によるRBL-2H3細胞の遺伝子発現変化	中村亮介(1)、石田純一(2)、小澤正吾(2)、奥貫晴代(1)、斎藤嘉朗(1)、手島玲子(1)、澤田純一(1)	(1)国立医薬品食品衛生研究所 機能生化学部、(2)国立医薬品食品衛生研究所 薬理部
好酸球増多症を自然発症するラット(MES)の蛋白抗原に対するアレルギー-反応性に関する検討	河内泰英(1)、松下宗史(1)、林修次(1)、川端留美(1)、松本清司(2)	(1)大鵬薬品 安全性研、(2)信州大 医 動物実験
惹起相を付加したMouse IgE Testにおけるtrimellitic anhydride (TMA) の気道感作能検出	上田英夫(1)、小坂忠司(2)、林宏一(2)、千葉裕子(2)、中島信明(2)、海老野耕一(1)、寺本昭二(1)	(1) (財) 残留農薬研究所 毒性第一部、(2) (財) 残留農薬研究所 毒性第二部
体液性免疫における長寿命抗体産生細胞に対する2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin (TCDD)の影響	井上薫(1,2)、伊藤智彦(1,3)、藤巻秀和(1,3)、遠山千春(1,3)、野原恵子(1,3)	(1)国立環境研究所 環境健康研究領域、(2)学振・科技特、(3)科技団・CREST
海洋深層水中のマクロファージ活性化に影響する有機物質の性状と分布	幾見泰洋(1)、高木邦明(1)、原田均(1)、五十里彰(1)、萩原快次(2)、嶋本淳司(2)、五十嵐保正(2)、和田卓(2)	(1)静岡県立大学 薬学部、(2)静岡水産試験場
T細胞活性化および分化に対するダイオキシンの抑制効果	伊藤智彦(1,2)、井上薫(1,3)、藤巻秀和(1,2)、遠山千春(1,2)、野原恵子(1,2)	(1)国立環境研 環境健康、(2)科技団 CREST、(3)学振 科技特
食物アレルギー誘発性試験の一環としてのin vitro分解性試験	手島玲子、高木加代子、奥貫晴代、中村	国立衛研・機能生化学部

亮介、蜂須賀暁子、
澤田純一

The Japanese Society of Immunotoxicology 日本免疫毒性学会